

令和6年度 和歌山市立宮北小学校 スクールプラン

学校長 西井 恵美子

作成日 令和6年5月13日

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子供の安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

【学 校 教 育 目 標】

心身ともに健やかで、たくましく生きる
子供の育成

【めざす児童像】

- よく考え、自分で判断できる子
- 心豊かでやさしい子
- 心身ともにたくましい子

前年度の学校評価

- 地域連携についてコロナ禍以降の新たな在り方を模索し、工夫した形を見出す
- 学力調査の結果・分析を全校に生かす
- 上級生と下級生のかかわりが温かい雰囲気醸成している

児童の実態

- 素直でやさしい子供が多い
- 清掃や仕事に真面目に取り組む
- 地域とのかかわりを大切にする
- 子供らしい活力にやや弱さがある

保護者・地域の願い

- 元気に登校し、学校生活を楽しんでほしい
- 宮北地区を愛する子になってほしい
- 安心で安全な環境づくり
- 学力の定着

重点目標

確かな学力の向上

- すべての学習において子供主体の学習を基本として行う
- 探求型学習の実践、展開を図る
- 基礎学習の充実を図る

豊かな心の育成

- お互いを理解し、支え合うことができる学級づくりを目指し、自尊感情の高まり、他者理解の深まりを図る
- 道徳教育、人権教育を通して子供の心を耕すように努める

健やかな体の育成

- 持久力・体力向上の推進
- 「全校活動」を中心とした基礎体力の充実
- 「歯ブラシ指導」と「睡眠教育」の推進

地域とともにある学校

- 地域人材を積極的に活用し、子供や教職員と地域の方のつながりを深める
- 情報を積極的に発信し、保護者・地域の方との信頼関係を深める

具体的な取組

- 発達段階に応じた「みる・きく・伝える」力を育成する。
- 生活科、理科、総合的な学習を中心に、体験的な学習やフィールドワーク等を積極的に取り入れ、子供が自らの気づきや考えをもって学んでいく学習を構想する。
- 授業改善、新しい学習を創造する視点を持ち、子供主体の楽しい学習を展開する。
- 子供が自身の学びを実感できる振り返りの場を設定する。

- 互いに支え合う学校・学級風土づくりを進める。
- 行事、児童会活動等、全校で心をつなげる取り組みを工夫しながら進め仲間意識を育てる。
- 話し合い活動や体験活動を多く取り入れ、広がりや深まりのある豊かな学習を進める。
- 図書ボランティアと連携し、図書室の環境整備を行い、子供たちが本とより一層親しむように努める。

- 体を動かすことの楽しさを感じられるよう遊びを提案したり、積極的に外遊びを呼びかけたりする。
- 「全校活動」で基礎体力作りにつながる活動を取り入れる。
- 毎日の生活リズムを大切に、早寝・早起き・朝ごはんを推奨する。
- 保健指導における歯ブラシ指導の充実を図る。

- 日々の教育活動や子供たちの様子を学校だよりやホームページ、参観や集会等で積極的に発信する。
- 校区の宮北保育所、日進中学校との連携を図る。
- 地域の見守りに感謝し、気持ちの良い元気な挨拶ができる子供の育成に取り組む。
- 地域人材や学習材を積極的に活用する。

指標

- ・「毎日の勉強がよくわかる」(児童90%)
- ・「子供主体の学習を実現しようとした」(教師90%)

- ・「学校が楽しい」(児童90%)
- ・「子供は毎日楽しそうに学校に通っている」(保護者90%)
- ・いじめの解消率100%

- ・「外で元気に遊ぶ」(児童80%)
- ・「給食の時間が楽しんだ」(児童80%)
- ・積極的に体を動かすよう計画し、実践した(教師90%)

- ・「学校は、教育活動や子供の様子をわかりやすく伝えようとしている」(保護者80%)
- ・地域や保護者と連携した取り組みを実践できた(教師80%)

◎：特に重点的に取り組むこと